



ハイウェイ九条を考える会

No17 2012・2・1
連絡先 〒 334-0001
鳩ヶ谷市桜町 6-13-16
森 克彦 048-283-3183
清水 こう 043-291-7293
白鳥 由一 03 5606 3715

ハイウェイ九条の会ホームページ <http://www006.upp.so-net.ne.jp/jh7600/>

第4回九条の会全国交流集会

憲法審査会始動

風雲告げる中 750 人の熱気

群馬県在住 尾関 計久

東日本大震災、福島原発事故で大変なこの時期に憲法改悪をめざす憲法審査会が始動(10月21日)。

この緊急事態にあわせて11月19日、日本教育会館(千代田区)で第4回全国交流集会が開かれた。

九条の会呼びかけ人の三人からの挨拶、5つの地域・分野からの報告の全体会と女性分科会、特別分散会、一般分散会が開催された。

我々は憲法と言う文化を持っている

大江健三郎氏 我々は憲法と言う文化を持っている、戦前はどのようなことをやってきたか考えるべき。広島、長崎の原爆でまだ苦しんでいる、このようなことを繰り返してはならない。

憲法審査会が亡霊のように現れてきた

奥平康弘氏 いわゆる3.11がもたらしたものの、今までやってきたこと、やってこなかったことを考えて行動すべき。また、今まで眠っていた憲法審査会が亡霊のようにこの時期に現れてきた、ふんどうしを締めてかからなければならない。

相手の動きをつぶすのは私たちの手の中

澤地久枝氏 ご自身の怪我で入院し落ち込んでいたが9.19さよなら原発集会の大変な人々の参加で元気を貰った。

相手の動きをつぶすかどうかは私たちの手の中に



ある「世直しとやわらかい言葉だけど革命なんですね」と述べ、それぞれの九条の会で話し合い勉強してその方たちが一人ひとりへ訴えていくことが必要である。

地域 分野からの報告

原発事故で踏みにじられる人権と生活

福島県九条の会真木氏 「福島は訴える」(福島県九条の会編・かもがわ出版)について、福島では戦前と同じように、人権と生活が原発事故によって踏みにじられている状況にやむにやまれず会として本を出版した。

村民340人中100人が会員

沖縄県大宜味村の平良啓子氏 ヘリパッド建設反対では、私(80歳代)よりもっと「おばあ」たちが座り込みでがんばっている。村民340人中100人が九条会員!

—— 2ページに続く ——

若者が学習会を発展させている

大学生の九条の会 国際キリスト教大学 嶋田拓郎氏 若者の中では社会、平和、政治運動をやっているのは少数派だが、物事に関する高い関心と不満がある。インターネット内の付き合いから直接顔をつき合わせアンケートなどを基に学習会を発展させている。3.11以降はボランティア、脱原発など今動かないでどうするという状況である。

沿線の有名な方を講師に学習会

東京都井の頭線九条の会・永福 伊藤幸世氏 会は会費なし会長なしで地域の学習会では沿線のかなり有名な方を講師に格安で運営できている。

大震災を改憲に利用する輩に負けれない

集会に参加して今年5月3日のあの読売新聞での憲法記念日特集をあらためて思い出した。

民主党の前原氏は憲法改正のハードルを低くするためにまずは96条の三分の二条項を改正すること。

自民党の石破氏は東日本大震災を、日本人が憲法のあり方を考えることに生かしていきたいと述べていた。

今回の大震災をも憲法改悪のチャンスと新聞に登場する輩に負けるわけにいかないのです。

私ごとですが、以前勤務した山形県鶴岡市で小学校区の九条の会を立ち上げ世話人で頑張っているK子さんとばったり、溪流釣り九条の会のWさんともあいました参加された皆さんそれぞれがんばっているのを実感しました。

宮内紀也さん、「体験記」読

みました

千葉市の寓居にて 清水こう

この前の「ハイウェイ九条」会報誌上でのあなたの記事を読みました。半世紀以上前のあの壮絶な体験を、まるで昨日のことのように綴られたあなたに敬服しました。このような体験の持ち主とは、今日まで存じ上げませんでした。ただ不明を恥じるばかりです。



「道公労」に大きな期待を寄せ、熱い情熱

思えば、あなたにお会いしたのは、もう50年近く前でしたね。たしか東京高輪の私鉄総連での道公労第1回中央大会ではなかったかと思います。僕も若かったが、あなたはもっと若かった。あの大会で、あなたは名神高速道路の現場を代表して積極的に発言されていたことを覚えています。

その後も、折にふれて、現場で、新橋の本社で、お会いし、議論を重ねた日々がありましたね。

あの頃のあなたは、記事に書かれた大陸からの脱出10年後くらいだったのでしょうか。しかし、そんなそぶりは、ぼくは全く感じませんでした。できたばかりの労働組合、「道公労」に大きな期待を寄せ、一緒にさまざまな現場の問題、悩みを解決していこうという熱い情熱だけを感じたものです。

僕はあなたの今回の「大陸脱出紀行」を読んで、あなたの心の奥底に触れたように感じました。そして、あの「道公労」結成の頃のあなたが、どのような思いで組合活動に取り組んだのか、を理解できたように思います。

「民主主義」の方向へ着実に進んできたと思う

いま、あなたもぼくも年を取りました。時代も大きく変わりました。しかし、世の中には、依然として不公平、不平等が、あるいはかつての時代以上にはびこり、「あえて戦争に訴えても、国益を守る」とか「戦前の日本への回帰」とか、「生存権を軽視し、社会保障も切り詰める」とか、歴史の歯車を逆転させようとする動きがあります。「核開発のために原発が必要」などという主張すらあります。

しかし、ぼくは長い歴史の進歩を信じています。人間は、試行錯誤を繰り返しながらも「民主主義」の方向へ着実に進んできたと思っています。あなたも、もちろんそうだと思っています。これからも、やれる努力を少しでも重ねていきましょう。

2011年12月5日

航空自衛隊浜松基地自衛官

人権裁判の勝利について

浜松市 川上 征夫

自衛官人権裁判とは？

航空自衛隊浜松基地(浜松市)3等空曹の男性(当時29歳)は1995年4月に入隊。同年10月に基地内の第1術科学校整備班に配属された。配属されて以来10年間、先輩の2等空曹(当時)から暴行・パワーハラスメントを繰り返し受け、残業休日出勤も強要された。

3等空曹は2005年6月から不眠・食欲不振などの症状が現れ、9月に「うつ」状態となり、長男が生まれたわずか5ヶ月後の11月、自宅で自ら命を絶ちました。29歳の若さでした。

自衛隊は暴行・パワハラを認めず不誠実な対応をしたため、遺族4人は国・自衛隊及び先輩2等空曹に対して1億1千万円の損害賠償を求め、2008年4月に静岡地裁浜松支部に提訴しました。

反省文を100枚書け

裁判は20回行われ、傍聴席は常に満席以上で交替で傍聴の状態でした。

先輩の2等空曹は足蹴り、作業用ライトやドライバーの取っ手で頭を殴るなどの暴力。「反省文を100枚書け」と指示、同僚の前で後輩隊員に朗読させた。

「五体満足でいられると思うな」「バカ」「死ぬ」「辞めろ」などの言動を行ったことが証人調べで明らかになった。しかし、動機はあくまでも指導であると主張した。

2011年7月の判決では これらは指導目的であるが「違法で悪質」として自殺との因果関係をみると、国に対し死亡したことの逸失利益と慰謝料の計



8千万円の賠償責任を命じました。一方で判決は「上官らはいじめを放置した」と主張して追及していた国の安全配慮義務違反は、認めなかった。裁判は一審で確定。

いじめ・自殺があって何で国を守れるのか

人権裁判を支える会では機会あるごとにJR浜松駅前などで裁判傍聴の訴えのビラ配付や署名活動を行いました。ビラを呼んだ人から「ここ10年間で陸・海・空の自衛官873人も自ら命を絶つという事態に追い込まれているそうですね。災害救助では立派に活動しているのに！ 繰り返し発生していることは放置できませんね！」などの声が多く寄せられました。

憲法9条との関連で自衛隊という存在をどう見るかはともかく、今自衛隊はわが国最大のお役所で年間予算約5兆円、職員・隊員総数26万人が勤務する一つの労働現場です。その現場で労働者？たる自衛官にとってまことに過酷な事件が発生していることは放置するわけには行きません。

これまではほとんどの遺族が泣き寝入りしてきました。しかし、2008年11月護衛艦「さわぎり」でのいじめ事件で国の賠償責任を認める、初めての司法判断ができました。横浜地裁でも護衛艦「たちかぜ」でのいじめ事件、札幌地裁でのセクハラ事件(勝訴・確定) 朝霧駐屯地暴行事件などの裁判が行われています。

浜松基地自衛官人権裁判は軍隊に人権の尊重を要求しても……。とっていましたが原告の頑張り、弁護士、支える会の3者の団結と世論の勝利です。自衛隊のなかにいじめがあり、自殺があって何で国を守れるのか。アメリカの海外なぐりこみ部隊の支援が自衛隊の本当の姿です。憲法9条を守り実践してこそ世界平和に貢献できると思います。

*補足 2004年4月、3等空曹はイラク特措法により3ヶ月間クウェートに派遣される。

2006年12月 航空自衛隊は「権限を越えた不当な指導」を理由に先輩2等空曹を停職5日の懲戒処分する。

2010年12月 防衛省から故3等空曹の遺族に対して「公務災害認定通書」の送付あり。裁判にも証拠書類として提出した。

1997年12月 航空自衛隊サッカー浜松チームの中心選手であり、全自衛隊大会で優勝。「今後の活躍を期待する」との評価も受けていた。

冬の虹

福岡市在住 内山 亥

“戦いを仕掛けた輩聖五月”

03年、米ブッシュ・英ブレア両政権は、イラク侵略の戦争を開始する。何と皮肉な聖マリアの月であったことか。

“海猫舞ふや船上はるか利尻富士”

稚内から利尻へのフェリーでは、乗客から餌をねだるカモメの群舞が延々と続く。孤峰の島、利尻山(1,721m)は、ハードな日帰り山行であった。

“新春やイラク派兵の憂いあり”

04年、新春早々に自衛隊のイラク派遣が始まる。うとうしい年明けであった。

“鳥海山や磐積み上げて紅葉晴れ”

東北の秀峰、鳥海山(2,236m)では四季折々、美しい景色が展開される。初秋の紅葉も絶品であった。

“九条を世界遺産に冬の虹”

太田光・中沢新一共著の新書版のタイトルからの盗用である。世界に誇る日本国憲法を永久に守りたいものである。

“鹿食うて馬と間違う万愚節”

九州脊梁、市房山(1,721m)山麓には数多くの湯治場があるが、湯山温泉の民宿に泊まり、焼酎と山菜料理を堪能した。おまけに、鹿の刺身の蕩けるような味覚を、馬刺と間違えるなど、美味しい山行であった。

“薩摩富士右巻き攀じる花密”

薩摩半島、開聞岳(924m)満開の花密の道をラセン状に山を一周して登る。東支那海を眼下に収める素晴らしい解放感。

“湯水にまけぬ草の根竜一忌”

05年6月、松下竜一の一周忌で、西日本一帯は異常な水不足に悩まされた。草の根通信で知られる氏の「暗愚の思想」は、環境権を掲げた。地元の火力発電所建設の反対運動の記録であり、今日、反原発の立場から再評価したいものである。

“女岳より姫岳望む女正月”

福岡市郊外、女岳(748m)から玄界灘に浮かぶ姫島を望む。雪のない冬の日差しの優しい女正月



であった。

“大雪渓滑って蒼きオホーツク”

知床の羅臼岳(1,660m)北面の大雪渓を下れば、オホーツクの海にそのまま滑り込みそうな勇壮な体験であった。

“幾世期黄砂降り敷く我が山河”

当たり前のこと乍ら、我が国は大陸に砂漠が出現して以来、今日まで、また未来も黄砂の洗礼を受け続けることではあるが。

“秋高し奇巖群れなす宮之浦岳”

世界遺産の屋久島は、雨の覆いことで名高いが、幸い秋の好天の宮之浦岳(1,936m)に登頂できた。

“秋富士を背に烈風の縦走路”

八ヶ岳山系、赤岳(2,899m)から雲海の上の富士を遠望して、烈風の中を早朝に出発した。

“御夢や蒼穹切りとる大斜面”

晩夏の富士山(3,776m)七合目付近では斜面の砂礫の中に御夢の群落が見られた。

“星生山の真白きパール雪女”

九重山系、星生山(1,762m)の冬の幻想。九州山地でも稀に雪山を楽しむことができる。

“震災の陸奥にまず咲け銀縷梅”

3月中旬、福岡市郊外、金山(967m)への尾根筋は群生の満作(銀縷梅)がさかりであった。きっと東北の山野にも可憐な花が咲き始めたことであろう。また、付近では初夏の石楠花の当たり年でもあった。

“死の灰も西に逃れて蒙古風”

東北から九州では、この春、濃い黄砂に何日も見舞われたが、これには大陸で発生した光化学スモッグが多く含まれているとのこと。将来にわたり安心して住める日本列島、そして大陸であって欲しいのだが。

北の国から

北海道在住 及川 保

原発廃止の署名を集めながら夫婦で道内旅行

8月下旬、突然に静岡県浜松の友人がご夫婦で愛犬を伴って訪ねてきました。

主に自家用車に寝泊りしながら道内旅行をしている途中でした。なんと、その友人はただ旅行を楽しんでいるわけではありませんでした。浜岡をはじめとする原子力発電所の廃止を求める署名を集めながら旅行をしていたのです。大変敬服し、署名をさせていただきました。

同じ頃、玄米をいつも購入している農園に注文をした際に、米は本州からの引き合いが多く特に前年米を望まれ、新米が出始めるのに新米は敬遠されたという話を聞きました。福島第一原発事故に伴う放射能の影響（風評）が北海道にも及んでいることを身近に感じた次第です。

「平和的利用」の発電施設も無くすことが基本

福島第一原発事故を起こした施設の廃炉にはこれから30年以上も要すると言うではありませんか。自分が生きている間は不安が無くならないということです。このように社会全体と長期間に及ぶ大きな被害になる原子力事故を今後なくすためには核兵器とともに平和的利用と言われる発電施設も無くすことが基本的な対応になると考えます。

先日、北海道電力「泊（とまり）原発の廃炉を目指す会」の学習会開催に関して少々お手伝いし、自分なりの意思表示をしたところです。



この写真は、記事と関係ありません

写真提供：川上征夫氏

その泊原発に関し、やはり8月下旬に、泊原発3号機のプルサーマル計画について2008年10月に北海道が主催したシンポジウムでの「やらせ」問題が日本共産党の指摘で発覚。北電の第三者委員会は会社の組織的関与を認定し、主催者である道の関与も指摘しました。道も指摘を受けて第三者検証委員会を設け、担当課長の言動が「やらせ」を助長したが、組織的な関与はなかったと報告（11月23日）。担当者は国及び北海道の原子力推進政策に沿った行動をしたのであり、個人に責任を押し付けての幕引きは許さないとの声は高まっています。北電は2012年春に予定していたプルサーマルの導入を当面延期する考えを表明しました。



9.19 さよなら原発集会

東京都在住 白鳥 由一

あふれる参加者で会場に入れず

9月19日の明治公園「さよなら原発5万人集会」に開催時間より1時間前にと行ったが、JR千駄ヶ谷の駅のホームから会場まで参加者が一杯で、会場入り口に来たものの中には入れず、会場外の歩道で参加となり、すでに会は進行していました。嬉しい“ソウテイガイ”の数の集会でした。

先の「原発ゼロをめざす集会」や「静岡の5千人集会」を報道しなかった、電力業界に買収された大手新聞各社が、さすがにこの集会は報道せざるを得ませんでした。

来年3月24日の1000万人署名集約集会に向けて、原発推進勢力側に署名を突き付け撤退の決意をさせる「行動の出発点」という呼びかけ人の訴えが心に響いた一日でした。

主な出来事

8月10日、中国大連港で改造中の旧ソ連製空母「ワリヤーク」(約67,000t)が初の試験航行を行う。

9月7日、民主党の前原政調会長はワシントン市内で講演し、自衛隊が海外で共同行動する他国軍に対する攻撃で武器を使用できるようにすべきとの考えを示す。また、武器三原則を「見直さなければならない」と語る。

10月17日、政府は米海兵隊普天間基地に変る新基地を名護市辺野子に建設する前提条件になる環境影響評価の「評価書」を年内に提出する意向を示す。

10月20日、衆参両院本会議は改憲原案を審議する憲法審査会の委員選任を行う。

10月21日、衆参両院の憲法審査会が設置後初めて開かれ、審査会の会長に衆院は大島章宏(民主)、参院は小阪憲次(自民)を選出した。

11月1日、政府は閣議で、南スーダンのPKOに陸上自衛隊の施設部隊を派兵する方針を正式に確認した。

11月7日、北海道の陸上自衛隊第7師団は90戦車や装甲戦闘車など約60車両が公道での走行と苫小牧港より民間フェリーを使い、10日から大分県日出生演習場で実施された大規模演習に参加。即応性、機動性と西南地域での島しょ防衛力強化が狙い。

11月17日、改憲原案の審査権限を持つ衆院憲法審査会が開かれ、各党が意見表明を行う。

11月27日、「大阪都構想」、「教育基本条例」、「職員基本条例」などが争点として争われた、大阪府知事と大阪市長の同時選挙が行われ、市長には大阪維新の会の橋本徹、知事にも大阪維新の会の松井一郎が当選した。

11月28日、改憲原案の審査権限を持つ参院憲法審査会が開かれ、各党が意見表明を行う。

11月28日、田中沖縄防衛局長は一部記者団と那覇市内の居酒屋で懇談し、評価書の年内提出に関して「犯す時に『これから犯しますよ』と言うか」と発言。29日、一川防衛相は田中氏を更迭した。

12月1日、二回目の衆院憲法審査会が開かれ、各委員が意見を表明した。

12月1日、一川防衛相は参院復興特別委員会

で1995年に沖縄県で起きた米兵による少女暴行事件の詳細を問われ「正確な中身を詳細には知らない」と述べる。

12月9日、参院本会議で原発輸出を推進するヨルダン、ベトナム、ロシア、韓国との原子力協定を可決成立した。

12月19日、北朝鮮の金正日総書記が死去

12月20日、政府はF4に変わる次期戦闘機としてF35を決定し、閣議で了承した。

編集後記

昨年未の編集委員会で、最近の改憲の動きが一番の話題となった。

4年前に設置されたものの、政権交代により棚ざらしとなっていた憲法審査会が動き出したからである。

今年5月、「参議院憲法審査会規程」ができたのを受け、10月には衆参各々の憲法審査会の委員を選任し、審査会の開催を開始した。

「国難のときに、国家の緊急事態を総理が宣言できる憲法に」鳩山前首相(新憲法制定議員連盟復帰挨拶)にあるように、震災を口実に強権的な体制を狙う流れや衆参の“ねじれ”が生じないよう一院制を目指す「衆参対等統一院制国会実現議員連盟」の動きがあり、また、改憲の発議要件を衆参両院の「3分の2」から「過半数」に緩和し改憲のハードルを低くする「憲法96条改正を目指す議員連盟」が6月7日に発足するなど、民主党政権が混迷の末、自民党政治への逆戻りを強めている中で改憲の動きが活発になっていることなどが話題の中心となった。

ハイウェイ九条を考える会が発足した頃「正攻法で臨み、憲法改正に取り組みたい」と公言する首相が現れるなど、改憲の動きは激しく大変分かりやすかった。反面、憲法を守る世論も急速に盛り上がり、九条の会は瞬く間に7,000を超えて全国にできた。

しかし現在、改憲を大声で主張する人は無く、マスコミも沈黙しているが改憲の流れは着実に進んでいる。

このような中、全国交流集会は危機感をもって開かれたのではないかと思う。私たち九条を考える会も最大の注意をはらい警戒する必要があるのではないかと編集員全員が口を揃えた。

この会の活動費の大部分は、「会報」の発行・送料に使われています。金額の大小を問わず協賛金にご協力をお願いします。

協賛金振込口座 ちば興業銀行 佐原(さわら)支店・(店番号820)

口座名義 西岡幸雄(ニシオカユキオ) 口座番号 普通預金 1016510